

第 21 回日本蛋白質科学会年会 ワークショップ公募について

第 21 回年会(会期：2021 年 6 月 16 日(水) -18 日(金) 会場：富山県民会館)を開催するにあたり、ワークショップ企画を公募いたします。

■■概要■■

1 テーマ 150 分の時間枠でワークショップ企画を公募いたします。ご提出いただいた企画は厳正なる審査の上、採否を決定いたします。採否結果は11月初旬～11月中旬にご連絡する予定です。会員の皆さまの積極的なご提案をお待ちしております。

■■募集期間■■

2021 年 10 月 5 日(月) —10 月 23 日(金)

■■募集要領■■

下記事項をご記入の上、年会事務局へ E-mail にてご提出下さい。

年会事務局 E-mail : pssj2021@aep1an.co.jp

1. テーマ名

2. オーガナイザー氏名・所属

3. 概要 200 文字程度 (日本語)

4. 予定演者の氏名・所属 (4-6 名)

※オーガナイザーおよび講演者の多様性(ベテラン・中堅・若手、男女)に配慮していただくようお願いいたします。

※ワークショップでの口頭発表は、年会を通じて1名につき1演題までといたします。オーガナイザー自身が発表を行うことも可能です。

※ワークショップの発表者も、一般演題(ポスター発表)を1演題まで行うことが可能です。また、若手奨励賞シンポジウムやポスター賞へ応募することも可能です。

※非会員のワークショップ演者には、年会参加をご招待いたします。ただし、懇親会は有料です。旅費・謝金の支給もございません。非会員のワークショップ演者には、なるべくご入会いただくよう薦めていただくと幸いです。

5. 一般演題からの採択(あり or なし)

※有り、または、無し を明記

※できるかぎり一般演題からの採択をお願いいたします。定数を超える企画の応募があった場合は、一般演題からの採択の希望をいただいた企画を優先する可能性があります。

6. 使用言語(英語、日本語、どちらでも良い、のいずれかよりお選びください)

※ワークショップの半数程度は、英語によるセッションにしたいと考えております。一つのワークショップの中では、どちらかの言語を通して使用します。海外研究者や外国人留学生の年会参

加を促すために、皆様のご協力をお願いいたします。

※一般演題から採択された方にも、セッションの使用言語にあわせた発表を依頼します。ただし、学生の場合は、英語セッションにおいても日本語での発表も認める予定です。

7. 連絡窓口となるオーガナイザーの氏名および連絡先（〒、住所、所属、TEL、FAX、E-mail）

◆プログラム

年会組織委員会では、以下のプログラムの開催を予定しております。

シンポジウム

AMED-BINDS (<https://www.binds.jp/>) 共催

「蛋白質科学が社会へ与えるインパクト：AMED-BINDS から次のステージへ」

オーガナイザー：津本 浩平（東大）、中村 春木（阪大）

村田 武士（千葉大）「ADMETox 関連タンパク質の構造解析に関する産学官連携」

高木 淳一（阪大）「LassoGraft Technology® による新規バイオ医薬品モダリティの創成」

姚 閔（北大）「新たなタンパク質結晶化促進剤の開発と応用」

渡邊 カ也（理研）「酵素反応を指標としたウイルスのデジタル検出技術の開発」

竹山 春子（早大）「微量組織・シングルセルのマルチオミックス」

山本 雅之・木下 賢吾（東北大）「Protein Scientists Meet Genome Science :

東北メディカル・メガバンク計画における蛋白質科学」

前仲 勝実（北大）「蛋白質科学を基盤としたアカデミア創薬の現状と展望：北大創薬センターの活動」

共催ワークショップ

新学術領域「生命金属科学 <https://bio-metal.org/>」共催ワークショップ

新学術領域「分子夾雑の生命化学 <http://www.bunshi-kyouzatsu.jp/>」共催ワークショップ

第 21 回日本蛋白質科学会年会

年会長 水口 峰之（富山大学学術研究部薬学・和漢系）

お問い合わせ先：

第 21 回日本蛋白質科学会年会事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6F

（株）イー・イー企画大阪オフィス内）

E-mail: pssj2021@aeplan.co.jp

Tel:06-6350-7163 Fax:06-6350-7164